

NO. 3	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	鈴木慎也	
<p>1. 木古内町の買い物弱者対策について</p> <p>買い物弱者といわれる人たちは、我が町のみならず全国で約600万人と言われ、各市町村では解決策を探っています。</p> <p>身近に食料品や生活品の店が無く、高齢や障がいなどで、お店まで買い物に行けない人たちの生活支援が求められている中、買い物の代行や宅配サービスなどでは、コスト、採算性、継続性などが壁となっています。</p> <p>我が町の実情は地域との長いお付き合いの中、信頼をもとに行われており「顔が見える大切なコミュニティビジネス」であります。</p> <p>しかし、経済の停滞、少子高齢化が進む中で企業努力だけでは非常に厳しい問題であり、今後、買い物弱者への支援策は官民一体となり対応しなければならないと考えております。</p> <p>そこで下記2点について町長に伺います。</p> <p>(1) 木古内町の買い物弱者の実態をどのように把握されているのか。</p> <p>(2) 木古内町の買い物弱者対策として、今後どのような対策を検討されているのか。</p> <p>(例)</p> <p>1. 宅配サービスの事業者に対し、燃料費、人件費などの補助。</p> <p>2. 買い物弱者に対し、タクシー券の発行または、買い物バスの運行。</p> <p>3. いまの実情を活かした販売車の導入、運営の補助。</p>			町 長

<p>2.ひとり親家庭への支援について</p> <p>近年、全国的に母子家庭のいわゆる「ひとり親家庭」が増加しています。</p> <p>木古内町ではひとり親家庭等医療費助成、児童扶養手当等の受給者は約50人超と少なくはありません。</p> <p>ひとり親家庭等医療費助成については、道の助成に更に上乗せした助成を行っており、他町村と比較した場合木古内町の制度は充実しており一部の町民からは「ひとり親に優しい町」との声も聞こえております。</p> <p>しかし、ひとり親家庭は、子育てと生計の担い手という二つの役割を一人で担っており、子どもの養育、住居、収入等生活全般で様々な困難を抱えており全国で2人に1人は貧困と言われています。</p> <p>母子家庭においては、子育てをしながら経済的に自立することが、母にとっても子どもの成長にとっても重要なことであり、今後は地域の問題として、より総合的な支援策を展開することが必要だと考えています。</p> <p>そこで下記4点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) ひとり親家庭に対するアンケート調査の実施について</p> <p>(2) ひとり親家庭に関する制度の分かりやすい情報提供について</p> <p>(3) ひとり親家庭の支援策の現状と課題について</p> <p>(4) 母子家庭と人口減少による介護職等の人手不足の連携事業について</p>	<p>町 長</p>
--	------------